

市議会だより

# 15き串木野



消防出初式の様子  
(1月10日：雪が積もるなかでの開催)

No.80

2021.2.5

## 12月定例会(11月27日～12月21日)

- 11人の議員が市政を問う・・・P2～8
- 令和元年度決算審査・・・P12～15

- 常任委員会審査・・・P9～P11
- 表決結果・・・P16

## 11月臨時会(11月6日)

- 教育長・教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任・・・P9

# いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般  
質問

※一般質問とは、議員が市の事務の執行状況や将来への考え方などの報告や説明について市長などに求めながら、市が市民のために適切な市政運営を進めているかをチェックするものです。

12月定例会の一般質問では、市政について11人の議員が22項目にわたり質問しました。  
質問答弁の内容については、議員本人が要約をしています。

## 質問項目一覧

12月4日(金)

ふくだ きよひろ  
**福田 清宏** 議員 (P3)

1. 硯川とその沿線道路の改修について
2. 自治公民館の名称について

はまだ ひさし  
**濱田 尚** 議員 (P3)

1. 沖ノ浜松林の整備について

ひがし いくよ  
**東 育代** 議員 (P4)

1. 教育を取り巻く環境について

だいろくの かずみ  
**大六野 一美** 議員 (P4)

1. 冠岳小学校閉校後の活用について
2. 入札のあり方について

にしべつ おさむ  
**西別府 治** 議員 (P5)

1. 地方自治体のデジタル化の加速について
2. 国・自治体のデジタル化システムの統一・標準化とマイナンバー普及率促進について



12月7日(月)

えぐち よしこ  
**江口 祥子** 議員 (P5)

1. 8050問題について
2. 学校給食費の公会計化について

たけのうち つとむ  
**竹之内 勉** 議員 (P6)

1. 定住・活性化促進の取組について

なかさと すみと  
**中里 純人** 議員 (P6)

1. 市立図書館について
2. 消防行政について

はらぐち まさとし  
**原口 政敏** 議員 (P7)

1. 教育問題について
2. 財政問題について
3. 生活保護について

よしどめ りょうぞう  
**吉留 良三** 議員 (P7)

1. 生活困窮者自立支援について
2. 有害鳥獣駆除対策の強化について

たなか かずや  
**田中 和矢** 議員 (P8)

1. 住み続けたいまちづくりについて
2. 新教育長の抱負と教育方針について
3. 公園の設置について
4. 五反田川の整備について

※12月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を短縮しました。

通常45分 ⇒ 今回30分に (いずれも市当局の答弁時間は含みません。)



福田 清宏 議員

**硯川とその沿線の道路改修  
河川改良計画の立案を検討中**

**問** 大雨により水があふれた硯川と水に浸かった道路等の改修計画は、立案されているか伺う。また、硯川の改修は右岸道路のかさ上げが必要であると思うが、どの様に対応されるか伺う。

**答** 河川流域の現況調査や浸水被害範囲の把握等の基礎調査を行い関係課が連携して計画の立案に向けて検討を進めている。

**川下の排水改良計画**

**基礎調査費の予算化へ**

**問** 硯川と尻塞川が合流する川下の排水改良計画はあるか伺う。

**答** 川下に設置した樋門は短時間に集中的に雨が降ると対応できない状況にあり神村学園周辺が冠水している。排水計画は、現在まで立案されていない。

**問** 川をさかのぼる水による冠水や浸水を防ぐため排水施設を早期に設置できないか伺う。

**答** 両河川流域の現況調査や浸水被害の状況などの基礎調査が必要であり早速、予算化し、その作業に入っていきたい。



(昨年6月の大雨時の硯川沿線道路冠水(右))

**自治公民館の名称**

**申請書様式の見直しへ**

**問** 自治公民館建設整備事業補助金交付申請書様式の氏名欄は公民館の名称に「自治」の文言がなくても自治公民館長と記入しなければならないか伺う。

また、申請書様式氏名欄に印刷してある自治公民館長の「自治」の文言を削除できないか伺う。

**答** 他の補助金の申請様式等とも調整しながら見直していく。

**自治公民館の規約例の改正**

**精査する**

**問** 市が示す自治公民館規約例の標題の〇〇自治公民館規約や条文中の〇〇自治公民館の「自治」は、間違いを起こさないためにも削除できないか伺う。

**答** 精査して改めるところは改めしていく。



濱田 尚 議員

**沖ノ浜松林の整備**

**可能な限りの活用を協議**



(「青松の森」の看板)

**問** 沖ノ浜の松林7.17ヘクタールを平成17年3月に「青松の

森」として、鹿児島森林管理署と協定を締結し、市民の憩いの場として、また、自然体験活動などを行うとして設定した。その後の取組状況や、森林の管理の状況は。

**答** 平成21年度には植樹祭を実施し、抵抗性松の植樹を行った。松林の管理については、過去には地域住民の皆さんの協力のもとで、下刈り作業も行われたが、近年では、ウォーキング大会の開催前にコース周辺の草払い等を行っており、それ以外では通行に支障となる木の伐採などを行っている状況。

**問** 吹上浜フィールドホテルが開業し、たくさんの来場者でにぎわっている。キャンプの需要や自然体験などのレジャーが多様化してきている中、松林を整備して人が集い、散策できる空間を創出しなければならないと思うがどうか。

**答** 松林にはたくさんの規制がかかっているが、フィールドホテルの皆さんや地域の皆さんの意見を聞きながら、可能な限りどんな形で活用できるか協議したい。

**問** 老朽化した展望所やトイレはいち早く撤去すべきでは。

**答** 沖ノ浜の国有林内にあるトイレや展望所は、公共施設のあり方の検討の中で廃止の方針を出している。実際、展望所は鉄筋がむき出しになっており、非常に老朽化している状況であるので、撤去に向けて検討を進めたい。



(老朽化した展望所)



東 育代 議員

### 市教育支援センターの増設と充実は 検討する

**問** 児童生徒数の減少を受けて、各学校ではどのような取り組みがなされているか伺う。

**答** 複式小規模校ではテレビ会議システムを活用した授業で他校と交流に取り組んでいる。今後は実態に寄り添ったきめ細やかな学習指導や生徒指導の充実を図る。

**問** 新教育長に、本市教育行政への取り組みに対する思いを伺う。

**答** 多くの声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添った教育環境を整備し、本市の発展を支える人材を育み、前例にとらわれることなく実践していく。

また、本市の豊かな自然と教育的な伝統、風土を活かして、学校・地域・企業等と連携を図りながら、生きる力を備えた児童生徒及び生涯にわたって学び続ける人材の育成に努めたい。

**問** 児童生徒数の推移と小中学校の統廃合について伺う。

**答** 平成22年度は2,386人、本年度は2,002人で10年間に384人、16.1%の減。統廃合基準に基づき対応することとなっているが、中学校の在り方などについて検討する時期に来ている。

**問** 不登校や不登校傾向の児童生徒への支援と対策について伺う。

**答** 令和2年10月現在で、不登校は小学校7人、中学校23人。

不登校傾向は小学校5人、中学校4人。関係機関と連携を図り、一人ひとりに寄り添った対応が出来るように努める。

**問** 不登校児童生徒数の増や利用状況を考慮した時に、市教育支援センターは1か所に対応できるのか、設置場所は適しているのか。

**答** 利用状況は最大で串木野地域15人、市来地域1人。一日平均9.6人が利用している。支援センターを増やすことは予算との関連があるので即答できないが、検討していく。現段階では、設置場所は学校教育課が近いので最適であると考ええる。



(市教育支援センターの様子)



大六野 一美 議員

### 冠岳小学校の跡地利活用は 構想のなかで幅広く検討・協議

**問** 冠岳小学校の閉校後、どのように利活用される考えか。

**答** 冠岳周辺一帯の歴史、自然、農産物などの地域資源を掛け合せて、冠嶽芸術文化村構想に取り組んでいる。地域ブランド化を図るための活用や、大学等のサテライトキャンパスとしての活用、市内のNPO法人による活用などを検討している。年間を通して地域と地域外の交流の場となり、地域の活性化や

地域資源の活用に資するものとする。

**問** 成功している先進地は職員が一生懸命に精通した結果として、市の浮揚策となっている実態がある。この取組ではどのようなか。

**答** 冠嶽芸術文化村構想推進事業のなかで、小学校跡地を活用して活用したいと市内外の方々で『よしみち会議』を設定している。そのなかで、心も体も健康に自然と共に育つことをコンセプトに掲げ、アウトドア、薬膳、地域のブランド化をテーマに企画立案され試験的に実施されている。

**問** 私学との連携はとれないか。

**答** 大学のサテライトキャンパスとしての活用も検討している。誘致の話で、駿河大学の先生方も現地に来られた。カリキュラムとして、学生が小学校跡地を拠点に地域の問題解決に取り組んだり、遠隔で授業を受けたり、地域住民の生涯学習の場になることが想定される。

### 入札のあり方

#### 基準等に基づきチェックを行う

**問** 入札の条件と実績について伺う。

**答** 参加申込時に配置予定技術者による現場代理人等の要件を確認し入札している。5件以上の入札は平成30年以降2社である。

**問** 工事に不具合が生じたときの責任と本市のチェック体制は。

**答** 当然、受注者・元請に責任があり、工事監理を徹底、管理する義務がある。下請に出す業務も市で施行状況を確認している。一括下請(丸投げ)は建設業法で禁止されている。今後、市民に広く理解されるよう対応する。

**問** 議員倫理条例の制度について業者への周知はできないか。

**答** 議員の条例であり、業者への周知はしていない。条例に抵触することで除外はできない。



西別府 治 議員

### マイナンバーカードの普及 行政手続きや日常生活で利用増

**問** マイナンバーカードの運用について、個人情報の流出や国による情報の一元管理などが心配されるが、対策はどのようなか。

**答** 国は個人情報の保護を確保した上で、マイナンバーカードを活用した電子申請や行政手続などを可能にする。国が示すガイドラインに沿って、適切に対応する。

**問** マイナンバーカードの普及による効果は。

**答** 運転免許証を返納された方の本人確認や、オンラインでの税申告、来年開始予定の住民票や所得証明書等のコンビニ交付などがある。また、子育てに関する手続きや災害発生時の被災者支援のほか、引越に伴う住民票異動届と電気ガス等との手続きワンストップサービスも予定しており、今後は日常生活においてマイナンバーカードを利用される機会が増えると考えます。

**問** マイナンバーカードを健康保険証として活用することについて、どのようなメリットが考えられるか。

**答** 健康保険証としてオンラインでの資格確認が可能になることで、高額療養費制度認定証などの申請時に来庁不要となり、また新たな保険証の発行を待たずに受診が可能となる。また、特定健診情報や医療費通知情報などが確認でき、医

療費の適正化にもつながる。さらに、本人の同意があれば、患者の薬剤情報や、母子保健情報の予防接種情報や乳幼児健診などのデータを、医師が閲覧可能になる。

**問** 市民課窓口での顔写真無料サービスの内容について伺う。

**答** すでに串木野庁舎、市来庁舎の市民課で実施し、マイナンバーカード申請を含めてサポートしている。このほか、公民館等への職員による出張申請サービスなどを行う。

**問** 出張申請を行う際に、市民課と健康増進課が一緒に行き、説明をしたほうがよいのでは。

**答** 一人でも多くの方に納得してもらえるよう、効率的な運用について検討する。

その他の質問項目

○地方自治体のデジタル化の加速について



江口 祥子 議員

### 8050問題について 社会全体で受け止める重要問題

**問** 市民にとって、窓口相談がどこか分かりにくいいため、相談しやすい体制づくりが必要ではないか。

**答** 家庭の状況や背景が様々であるため、健康増進課・市民課・福祉課を窓口としてどこでも相談を受けることができ、関係機関と密に連携して対応している。

**問** 8050問題に該当する方の把握が難しいなかでの民生委員と

の連携を伺う。

**答** 地域の相談役として民生委員が訪問するなかで、家庭から相談があれば市の窓口につないでもらっている。民生委員に依頼して行った高齢者実態調査では、令和2年度で17名に8050問題の疑いがあった。

**問** ひきこもりといわれる人たちの課題と対策について伺う。

**答** 対象となる家庭が外から見えずらく、ごく一部しか把握できないこと。また、各家庭に多様な背景があり、家族が接触を望む本人にしか支援が届かないのが大きな課題。保健師による訪問や公認心理士による助言など、生活困窮者自立支援事業による相談支援を実施しており、できるだけ接触できる機会を増やしながらか、支援の手を差し伸べるよう努める。

### 学校給食費の公会計について

#### 全ての事務は学校給食センター

**問** 文部科学省は、教員の負担が指摘されている給食費の徴収・管理業務について、地方自治体が行う公会計化の導入を求める通知を出している。本市での学校給食費の徴収・会計処理の状況について伺う。

**答** 給食費について、串木野地域では、自治公民館やPTA組織で集金したものを金融機関で納付していただいております。市来地域では、世帯ごとに納付書を配布して、保護者が直接納付していただいております。また、納入後の会計処理については、給食センター職員が行っているため、学校側の負担は少ない。

**問** 今後、学校給食費を公会計化する考えはないか。

**答** すでに学校側の負担が少ないことや、システムの改修費等が生じることなどにより、公会計化は考えていない。



竹之内 勉 議員

### 第1期総合戦略の総括を 検証し、第2期へ活かしたい

**問** 平成27年に決定した第1期総合戦略が昨年3月で期間を経過した。人口実数がビジョンを下回っているため、施策の検証を行い、策定が遅れている第2期総合戦略に活かすべきではないか。

**答** 『雇用の場の確保』については一定の成果があったが、その他の項目については、限定的であった。人口減の大きな要因は、自然減

であり、第2期総合戦略の策定に当っては、若い世代のニーズに合った施策を重点的に取り組んでまいりたい。

### テレワークで定住促進を IT関連企業の誘致促進で

**問** 4年前にも同じテーマで質問した。コロナ禍で働く場所に制約が無くなったこともあり、大都市圏から地方への動きが顕著であるなかで、本市も選んでもらえるよう環境整備が急務である。若い職員によるアイデア意見交換の場を設けて、政策に反映できないか。

**答** 今後、IT関連企業の誘致を進めることとしており、都市部企業の動向や可能性、サテライトオフィス設置等の可能性について調査を進めていく。市職員に限らず、市内産業界の若い方々からのご意見をいただくためのワークショップ等も研究していきたい。

### ワーケーションで交流人口拡大 グランピング施設一帯で

**問** 本市にもワーケーションに最適な施設と観光資源がある。これを何とか活かして、人を呼び込むことができないか。

**答** 庁内でワーケーションはできないかと検討していた。一帯が本市・本県の名所になると思っており、PRに努めるとともに、設置者や地元の方のご意見も踏まえながら進めたい。



(市来地域のグランピング施設)



中里 純人 議員

### 図書館図書 地元で購入する

**問** 市立図書館が指定管理者の運営から直営に戻ったが、運営状況は。

**答** 図書館司書4名を含む7名体制のシフト勤務で対応。蔵書数は11万5,000冊、一人当たり4.18冊で県内平均を上回っている。利用登録者数は2,702人。個人貸出冊数は市民一人当たり3.19冊で県内平均より少ない。移動図書館車は毎月15コース、24ス

テーションを運行。コロナ禍の状況において有効なサービスである。

**問** 図書購入の実態調査では、8割ほどの図書館が自治体域内の書店や書店組合を仕入先としている。地域経済の循環を進める上でもどうか。

**答** 現在はシステムの関係で、図書館流通センターからの購入が中心。今後、可能な限り地元業者の利用を進めたい。

**問** コミュニケーションの場所として、コーヒーや紅茶などを提供できる憩いのスペースを設けてはどうか。

**答** 現状の限られたスペースの中で設置は難しい状況だが、今後研究する。

### 消防庁舎 増改築を含めて検討中

**問** 組織機構の見直し案では、市来分遣所の統廃合が挙げられ

ているが、状況はどのようなか。

**答** 統廃合により、消防力は充実・強化できるものと考えている。人的・財政的な資源の有効活用について、検討を進めている。

**問** 住宅用火災報知機の電池寿命は10年で本体の交換時期を迎えているが、対応はどうか。

**答** 設置率は93%、条例適合率(市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の割合)は83%で、いずれも県の平均を上回っている。各世帯の機器の経過年数は把握していない。設置及び点検、交換に関する啓発に努める。





原口 政敏 議員

### さまざまな教育問題

#### 状況を把握し、きめ細やかに対応

**問** いじめ問題について、どのように捉えているか。また、第三者委員会の調査見通しについて伺う。

**答** いじめは、絶対にあってはならない問題である。発生したらいち早く解決し、子供たちが正々堂々、伸び伸びと羽ばたく社会を構築することが責務である。今回の調査内容やスケジュールについては、第三者委員会で決定することとなるが、対象生徒が来春の高校受験を控えているので、今年度中に調査を終了するよう申し入れを行った。

**問** 昨年本市で起こった2つの虐待事件について、その後の経過はどのようなか。

**答** 昨年事件で虐待を受けた子供たちは、それぞれの家庭に帰り問題なく生活している。現在も市や児童相談所が定期的に自宅を訪問し、継続して状況を把握しながら、学校など関係機関との情報の共有を図っている。また、地域の方々からのご協力もいただきながら、温かい見守りに努めている。

**問** 現在の虐待発生状況はどうか。

**答** 現在7世帯9人が虐待を受けており、市保健師や家庭児童相談員による定期的な訪問等を行っている。

**問** 通学中に挨拶をしない子供が増えてきた。道徳教育として指導できないか。

**答** コミュニケーションの要であり、地域や家庭や学校などで連携しながら取り組みたい。

### コロナ禍での生活保護

#### 今後増えてくると見込む

**問** コロナ禍により、生活保護受給者が増えているのでは。

**答** 令和元年度末で、204世帯295人が生活保護を受けている。コロナ禍の影響で保護になった方はいないが、今後、雇用情勢が厳しくなり、生活に困る方の相談・申請が増えると予想する。

### 厳しい財政状況

#### 強く改革を進める

**問** 厳しい財政状況が続くなか、対策をすべきではないか。

**答** 県内19市のなかで、実質公債費比率はワーストである。組織機構改革のほか、定員管理計画・財政改善計画を進めていく。また、管理型行政運営から経営型行政運営に転換するとともに、人件費や事務事業などの見直し、持続可能な市政運営に努める。



吉留 良三 議員

### 生活困窮者支援のスタンスは希望をもたらす的確な支援が使命

**問** コロナ禍などでの雇止めや、家族介護で就業困難などによる生活困窮者への支援策は。

**答** 5年前からの自立相談支援事業や、令和元年度からの就労準備支援事業などを実施して、包括的な支援に努めている。自立相談支援事業では、この間128件の相談があり、7件の就労があった。

**問** 社会福祉協議会による償還免除特例の緊急小口資金など、

特例貸付の状況はどうか。

**答** 20万円上限の緊急小口資金として40件745万円、60万円上限の総合支援資金として12件660万円を貸し付けた。

**問** 直ちに就労が困難な方等への就労準備支援事業の実績と課題は。

**答** 昨年事業を開始し、パソコン操作練習や軽作業を通じて、就労に向けた準備をしている。今後は、中間的な就労の場や職場体験などの場の開拓が必要。

**問** 子どもの学習生活支援事業の現状と課題は。

**答** 平成30年度から青松塾を活用して支援している。現在は4名が対象だが、今後は保護者への養育支援が必要と考える。

**問** 「困ったときは行政を頼って下さい」というメッセージを感じ取ってもらえるよう、行政の姿勢を示せないか。

**答** 生活に困っている方々に希望を見出せる取組をすることが行政の姿勢の原点。

「孤立していないのですよ、あなたは」と強いメッセージを発するよう、関係部署や民生委員との連携を強める。

### 有害鳥獣駆除対策の強化を

#### 猟友会に協力要請している

**問** 狩猟期になり、集中捕獲キャンペーンが提唱されているが、本市の状況は。

**答** 3年後の鹿・イノシシの生息頭数半減を目標に、猟友会に協力を依頼している。

**問** 捕獲頭数を増やすための支援策はないか。

**答** 現在、国において侵入保護防止柵の設置支援や、平均捕獲頭数以上捕獲の上乗せなどが検討されている。

**問** 免許所有者と地域住民で捕獲班を作り、捕獲成果を上げている県外の取組がある。これを見習い、本市でも捕獲強化を。

**答** 猟友会や地域の意見を聞き、地域ぐるみの捕獲活動について検討する。



田中 和矢 議員

### 目指す街づくり像とは

#### 市民が主役の安心安全な街

**問** コロナ禍でテレワーク等の働き方の変化や住居選びの考え方も変わってきている。少子高齢化や出生数の減少は全国的で仕方ないことだが、今後のまちづくりについての方針を伺う。

**答** 市には親しみやすさ、交通や生活の利便性、治安、自然、観光、行政サービス等の強みと弱みがある。「強み」をいかに活かすかが大事。

**問** 長島町の庁舎には「長島町民の役に立つ人のいるところ」という看板があり、覚悟と情熱を感じる。さ

まざまな施策に市民の理解と協力を得ることが肝要だと思うが、いかがか。

**答** 本市は豊かな自然や歴史、文化に恵まれている。食に関する特産品の開発やイベント等の取り組みを推進し、主役である市民、地域団体と一体となり、産業の振興を図りながら、安心安全で健康に暮らせる街づくりに努める。

### 新教育長の抱負と方針は

#### 一人ひとりに寄り添い大切に

**問** 市長は、新教育長に何を期待して任命したのか。

**答** 学校教育では、豊かな学力の定着とともに、規範意識や自立心、感謝や思いやりの心、忍耐力、生き抜く力の育成に努めてもらいたい。

**問** 社会・生涯教育についての教育長の抱負や方針を伺う。

**答** 社会教育主事の経験を生かし、卒業後も社会人の学びの場として、公民館での講座や趣味を同じくする団体の協働などを通じ、資質を高め、生涯にわたり学べる環境づくりを目指す。

### 袴田地区に公園設置を

#### 地域と協議し検討する

**問** 500世帯、1,500人の住む大きな地区である袴田地区に公園がなく、「子育て、地域行事、夏祭り等に大変困っている」との住民の声を多く聞く。公園の整備に最大の努力をすべきではないか。

**答** 有効な市有地がなく、補助事業もないため、整備ができていない。公園設置の借地や寄附等の土地があれば、申し出てもらいたい。地域と一緒に協議・検討してまいりたい。

### 五反田川の土砂・寄州の整備

#### 引き続き県に強く要望する

**問** 早期に整備に取り組んでもらうよう、引き続き県に要望・要請をすべきでは。

**答** 流れを阻害している堆砂や草木の除去などについて、今後も県に強く要望していく。

## 議会の動き (令和2年11月～令和3年1月)

### 【11月】

- 2日 議会運営委員会
- 4日 鹿児島県市議会議長会臨時総会  
国会議員との意見交換会(東京)
- 6日 第5回市議会臨時会
- 10日 第11回議会改革推進特別委員会
- 16日 議会運営委員会  
第2回タブレット導入推進委員会
- 19日 議員研修会  
議員全員協議会
- 20日 第12回議会改革推進特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 第3回タブレット導入推進委員会
- 27日 本会議(開会日・議案質疑)  
議会広報特別委員会

### 【12月】

- 4日 一般質問(7日まで)
- 7日 議会広報特別委員会
- 9日 常任委員会(総務厚生委員会)

- 10日 常任委員会(産業教育委員会)
- 15日 第2回衛生処理組合議会定例会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 本会議(最終日)  
議会広報特別委員会
- 25日 第13回議会改革推進特別委員会  
議会広報特別委員会

### 【1月】

- 4日 仕事始め・議員初顔合せ  
新春賀詞交歓会
- 10日 消防出初式
- 12日 議会広報特別委員会
- 14日 鹿児島県市議会議長会臨時総会(鹿児島市)
- 15日 議会運営委員会  
議員全員協議会
- 19日 議会広報特別委員会  
第14回議会改革推進特別委員会
- 29日 第15回議会改革推進特別委員会  
第4回タブレット導入推進委員会

# 条例の制定・改正、その他

## 11月臨時会

### 教育長・教育委員会委員の任命

#### ・教育長

氏名	任期
相良 一洋	令和2年11月26日から3年間

#### ・教育委員会委員

氏名	任期
徳重 涼子	令和2年11月26日から4年間

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

氏名	任期
小原 成雄	令和2年11月25日から3年間
本田 秀之	
山下 治行	

※固定資産評価審査委員会とは  
固定資産台帳に登録された事項に関する不服の  
審査及び決定その他の事務を行います。

### ●指定管理者の指定について

施設名	指定管理者	指定管理委託料(年間)	募集方法
・串木野高齢者福祉センター ・市来高齢者福祉センター ・働く女性の家	社会福祉法人 いちき串木野市社会福祉協議会	1,399万3,000円	非公募
・冠嶽園	(有)坂口造園	435万円	公募 (1社応募)
・串木野体育センター ・長崎鼻公園ソフトボール場	(有)俣木造園	416万9,000円	公募 (1社応募)
・川上運動広場	川上コミュニティ協議会	14万1,000円	非公募
・串木野弓道場 ・市来弓道場	いちき串木野市弓道連盟	47万8,000円	非公募
・相撲競技場	いちき串木野市相撲連盟	24万9,000円	非公募
・B&G海洋センター	(株)日本水泳振興会	1,616万9,000円	公募 (1社応募)

※期間は、いずれも令和3年4月1日～令和6年3月31日まで(3年間)

**問** 指定管理期間が5年から3年になった経緯はどの  
ようか。

**答** 最低賃金の上昇など経済の変化もあり、長期間の  
指定期間では臨機応変の対応が難しいので、現時  
点では3年が妥当とした。

## 12月定例会

### 議員・特別職・一般職の期末手当

特別職報酬等審議会の答申及び人事院勧告に基  
づき、期末手当の支給割合を0.05月分引き下げます。

区分	影響額
議 員	25万円(期末手当)
特 別 職	13万5千円(期末手当、共済費)
一 般 職	704万7千円(期末手当等、共済費)

### 組織機構見直しに伴う関係条例の整備

社会経済情勢や市民ニーズの変化に対応した行政  
運営を行うため、令和3年4月からの組織機構の見  
直しを行うに当たり、関係条例を整備しました。

(組織機構の見直しについては今後、市広報紙やお  
しらせ版に掲載)

### 指定管理者の指定について

令和3年4月からの指定管理者の指定について審  
査をしました。(詳細は下記)

**問** 途中で施設が廃止された場合の指定管理者との  
調整はできているのか。

**答** 施設の老朽化や自然災害等により大規模な修  
繕が必要となった場合は、施設の利用を中止し、  
指定管理期間を変更する旨を募集要項に記載し、調整  
することとなっている。

# 12月定例会補正予算

今年度事業の決算見込みによる増額など

# 1億4,209万7,000円の追加計上

## 《一般会計予算総額 224億9,229万9,000円に》

### 【一般会計：歳入の主なもの】

**・コロナ対策事業の推進** **6,253万円**

新型コロナウイルスの感染拡大防止や、「新しい生活様式」を踏まえた地方創生に向けて取り組む事業に対し、国からの地方創生臨時交付金を活用します。

**・企業版ふるさと納税寄附金** **100万円**

シン・エナジー株式会社（本社：神戸市）から、本市の地方創生の取組に対して、寄附の申し出がありました。

なお、この寄附金については、冠嶽芸術文化村構想推進事業に活用予定です。

#### 意見

法人税控除の拡大により、企業側にもメリットが増えている。本市の財源確保のためにも、強く進めてほしい。

### 【一般会計：歳出の主なもの】

**・給与費等の減額** **▲1,690万円**

期末手当の支給割合の変更（詳細は9ページ）や、人事異動等に伴う給与費の減額などにより、補正します。

**・組織機構の見直し関連経費** **1,981万円**

令和3年4月からの組織機構見直しに伴い、電算システム設定変更委託料などを計上します。

**・公民館の安全灯設置補助** **136万円**

自治公民館等が設置する安全灯（LED灯）の費用に対して補助を行うもので、件数増により増額します。

- ・補助率：対象経費の2/3
- ・補助件数：当初より93件の増（合計213件）

**・ペイジー口座振替受付の開始** **356万円**

市役所窓口にて、金融機関のキャッシュカードを使って市税等の口座振替の申込手続きができるようになります。

（令和3年7月から開始予定）

**・障害者の介護給付等事業** **4,310万円**

決算見込みにより、介護給付費及び訓練等給付費をそれぞれ増額します。

**・認定こども園の一時預かり** **588万円**

くしきの森のこども園において、教育時間の終了後や土曜日などに、1号認定の園児を預かる一時預かり事業（幼稚園型）を開始したことに伴い、費用を追加します。

**・保育施設等への給付費** **2,756万円**

私立保育園6園、認定こども園2園、私立幼稚園1園、地域型保育所1園の運営費で、保育単価の増により補正します。



**・ひとり親世帯への臨時給付** **1,598万円**

昨年6月に実施した、臨時特別給付金の基本給付（再支給）を追加します。

- ・支給世帯数：345世帯（見込み）
- ・支給額：1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円

**・生活保護扶助費の増額 1,945万円**

入院分の費用が増えたことなどにより、医療扶助費を増額します。

- ・受給状況：202世帯・285人(令和2年10月時点)

**問**生活保護の方々についても、医療費をなるべく使わないシステムを構築できないか。

**答**全額が公費負担ということもあり、意識が薄いのかもしれない。ジェネリック医薬品の活用などについて、今後、関係機関と意見交換をしながら、取り組んでいきたい。

**・最終処分場の補助金返還 1,725万円**

一般廃棄物管理型最終処分場において、工事費の算定方法及び構内道路の造成について、会計検査院より指摘を受けたため、過大交付額を返還します。

**・空き店舗等の活用促進 232万円**

市内の空き店舗等を活用して、新規に出店する方へ費用の一部を補助しており、件数増により増額します。

	補正前	年間見込	増減
改装経費補助	2件	9件	7件
家賃補助	14件	23件	9件

**・外国人技能実習生受入支援 345万円**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外国人技能実習生の入国時における14日間の待機費等の措置を行った市内事業者に対し、補助を行います。

- ・補助額：補助対象額の4/5(1人あたり上限15万円)

**・留学生記念館の誘客PR 753万円**

村橋久成をテーマとした特別企画展の作成業務委託のほか、五代友厚の映画『天外者(てんがらもん)』の出演者によるトークイベントと上映会を市民文化センターで実施するなどして、記念館への誘客を図ります。

**意見**

各方面からのPRの仕方が大事で、市を知ってもらい、薩摩藩英国留学生記念館に来てもらうことで、後々のリピーターを増やすことに繋がる。



<薩摩藩英国留学生記念館(外観)>

**・教師用指導書の購入 889万円**

令和3年度からの中学校教科書の改訂に伴い、教師用指導書等を購入します。



**・かごしま国体等の延期 ▲9,125万円**

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」と第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催が、2023年に延期されたことに伴い、実行委員会への負担金を減額します。



<総合体育館(外観)>

**【特別会計・公営企業会計】**

**・介護保険特別会計(第2号) 1,331万円**

介護保険制度改正等に伴いシステム改修を行うほか、介護保険基金への積立を行います。

- ・基金残高:2億9,205万円(12月補正後見込額)

**・後期高齢者医療特別会計(第2号) 92万円**

保険料の均等割軽減特例の見直し等に伴いシステム改修を行います。

**・水道事業会計(第1号)**

営業収益において、新型コロナウイルス感染症による地域経済や家計への影響にいち早く対応するため、水道料金を4か月分免除したことによる給水収益4,961万円を減額しました。

また、営業外収益において、4か月間の水道料金を免除したことなどに伴う一般会計からの補助金4,973万円を追加しました。

(減免件数について)

一 般	公共施設	合 計
57,490件	728件	58,218件

## 【令和元年度決算審査】

**一般会計歳入総額 186 億円、歳出総額 181 億円**  
**学校給食センターや防災センターなどにより、普通建設事業費が増加**

決算審査特別委員会（委員長：東 育代、副委員長：松崎 幹夫）を10月20日～23日に開催し、現地調査・書類審査を行いました。

また、その審査結果を12月定例会開会日（11月27日）に報告し、一般会計ほか6特別会計、1公営企業会計を認定しました。

### 令和元年度会計決算状況

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		186億9,299万1,379円	181億9,979万3,674円
特別会計		89億113万3,273円	87億4,710万2,811円
（特別会計の内訳）	国民健康保険	40億2,570万6,564円	39億4,944万1,178円
	公共下水道事業	8億784万8,604円	7億9,185万735円
	地方卸売市場事業	20万4,389円	20万4,389円
	介護保険	36億2,212万4,395円	35億6,376万3,341円
	戸崎地区漁業集落排水事業	1,814万9,008円	1,551万8,557円
	後期高齢者医療	4億2,710万313円	4億2,632万4,611円
計		275億9,412万4,652円	269億4,689万6,485円

公営企業会計		収入総額	支出総額
水道事業	収益的	5億9,728万8,779円	5億8,842万741円
	資本的	2億5,922万7,113円	5億2,737万8,139円

### いちき串木野市の財政指数等

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	説明
財政力指数	0.40	0.40	0.40	普通交付税の算定に用いた基準財政収入額の基準財政需要額に対する割合の過去3か年度の平均値。指数が高いほど財政に余裕がある。
経常収支比率	95.8	97.6	93.6	財政構造の弾力性を判断する指標であり、人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、税、普通交付税等の経常的一般財源が、どの程度充当されているかを示す比率。比率が低いほど弾力性が大きい。
地方債現在高	222億円	218億円	216億円	市の借金
基金の状況	63億円	72億円	65億円	市の貯金

## 一般会計（主な事業）

### 1. 歳入

#### 市税

・市税の収入済額は30億4,832万4,655円で前年度と比較すると2,017万2,502円の減。

#### 地方交付税

・普通交付税は45億6,737万5千円、特別交付税は9億396万8千円で、臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は、57億9,482万3千円  
(前年度比1億3,715万2千円の減)。

#### 【歳入】ふるさと納税寄附金

・寄附金総額：13億7,332万6,048円



※前年度比3億2,498万6,618円の減  
(総務省の法規制などが影響)

### 2. 歳出

#### 総務費

・転入者住宅建設等補助金及び定住促進対策事業補助金により、定住人口増を図る。

	件数	補助額
転入者住宅建設等補助金	33件	1,599万円
定住促進対策事業補助金	1件	204万円

・冠嶽芸術文化村構想推進事業(649万円)  
・地区まちづくり協議会運営補助金(2,913万円)

#### 民生費

・長寿祝金支給事業(570万円)

年齢	80歳	88歳	90歳	95歳	100歳到達	100歳以上
人数	346	203	163	67	14	29

・児童手当給付費(4億55万円)  
・保育施設等給付費(8億5,557万円)  
・児童扶養手当給付費(2億103万円)  
・生活保護扶助費(4億6,483万円)

#### 衛生費

・予防接種事業(5,703万円)  
・子ども医療費助成金(総額7,996万円)  
・がん検診等の保健事業(5,354万円)  
・合併処理浄化槽設置整備事業補助金(2,374万円)  
・危険廃屋等解体撤去工事補助金(65件、1,286万円)  
・環境センター・最終処分場の施設運営維持管理費(2億5,844万円)

#### 農林水産業費

##### 農業費

・農業次世代人材投資事業(1,133万円、対象8人)  
・サワーポメロPR・消費拡大プロジェクト(510万円)  
・グリーン・ツーリズム推進事業(21万円、4校111人を受入)

##### 林業費

・有害鳥獣捕獲事業補助金(1,233万円、2,243頭を捕獲)

	イノシシ	シカ	タヌキ アナグマ	カラス	サル
捕獲頭数	1,045	464	440	292	2

・観音ヶ池市民の森周辺整備事業(1,094万円、総合案内板1基・入口サイン3基・歩行者誘導サイン4基を設置)



<観音ヶ池市民の森に設置した看板>

##### 水産業費

・まぐる漁船母港基地化奨励事業補助金(まぐる漁船及び運搬船の入港に対して、5隻に計250万円を補助)  
・種子島周辺漁業対策事業補助金(市来町漁協の漁船上架施設改修及び串木野市漁協のフォークリフト購入に892万円を補助)  
・県営事業負担金(串木野漁港・羽島漁港・戸崎漁港の漁港整備7か所に係る市の負担金8,350万円)

### 商工費

- ・プレミアム付商品券事業（7,135万円、12,296冊を販売）
- ・空き店舗等活用促進事業補助金（6件の改装経費等補助160万円、19件の家賃等補助271万円）
- ・ふるさと納税推進事業（返礼品等の報償費5億2,790万円、返礼品数450品、パートナー企業80社）
- ・いちき串木野観光ポスター制作業務（169万円）

### 土木費

- ・道路維持工事費（1億6,473万円、道路16路線と橋梁5橋）
- ・都心平江線改良事業として、橋台建設・上部工及び道路築造の工事を行う。（総事業費1億9,431万円）
- ・麓土地区画整理事業（5億67万円、進捗率97.5%）
- ・住宅リフォーム事業補助金（172件、2,044万円）
- ・市営浜西住宅建替事業として、住宅建設（建築、電気、給排水、外構）や周辺道路整備の工事を行う。（総事業費2億1,834万円）



<羽島中学校北側に建設した浜西住宅>

### 消防費

- ・デジタル無線及び指令システム一括保守業務委託（806万円）
- ・防災センター整備事業として、建築本体外工事や備品購入などを行う。（総事業費4億3,618万円）



<市役所串木野庁舎の東側に建設した防災センター>

### 教育費

- ・小学校の空調設備工事及び電気設備工事（総事業費1億9,620万円）

- ・図書館指定管理者委託料（1,819万円）

	利用状況（人）			貸出冊数（冊）
	一般	児童	合計	
本館	20,951	7,733	28,684	64,978
移動図書館	241	2,438	2,679	8,263
市来分館	6,593	2,927	9,520	15,201
合計	27,785	13,098	40,883	88,442

- ・学校給食センター建築事業として、給食センターや付属建物の建築工事のほか、駐車場等の外構工事を行う。（総事業費10億2,761万円）



<西薩工業団地内に建設した学校給食センター>

## 特別会計・公営企業会計

### 国民健康保険

- ・国民健康保険税の徴収率は現年度分が97.66%で、前年度より0.81ポイントの増となった。

### 公共下水道事業

- ・歳出は串木野クリーンセンターの維持管理費や長寿命化事業2期工事委託、公債費が主なるもの。

### 地方卸売市場事業

- ・歳入は一般会計からの繰入金、歳出は市場施設災害共済分担金や修繕料等が主なるもの。

### 介護保険

- ・介護保険料の徴収率は98.4%で、前年度より0.8ポイントの増となった。

### 戸崎地区漁業集落排水事業

- ・歳出は処分場の維持管理経費や公債費が主なるもの。

### 後期高齢者医療

- ・歳出は、後期高齢者医療広域連合への納付金が主なるもの。

### 水道事業

- ・事業収益は予算額と比較して1,974万円の減となった。その主な要因は、給水戸数・給水人口の減のほか、一般家庭の使用量が節水傾向により減少したこと。

## 委員からの質問・意見（主なもの）

### ○冠嶽芸術文化村構想について

**問** この構想をとおして、最終的にはどのように冠嶽地区を盛り上げていく考えか。

**答** 冠嶽・生福の両地区で取り組んでいるが地域を活性化するマンパワーが不足している。地域外から人を呼び込み、関係人口として地域活動に取り組み、一緒になって地域を盛り上げていく『活力』を作り上げていきたい。

### ○地域おこし協力隊について

**意見** 本市で3年間、地域のために活動され、その後も本市において起業して頑張っているのであれば、まちの活性化につながるように、市も支えてあげてほしい。

### ○生活困窮者自立相談支援事業について

**意見** 相談実績はあるが、就労件数が無いことから、少しでも就労に結びつける仕組みが必要。

### ○空き家対策について

**意見** 市内で空き家が増加するなかで、近隣住民に迷惑をかけている危険廃屋がある。市として、強制力をもって、より踏み込んだ対策をすべき。

### ○農業次世代人材投資事業について

**意見** 新規就農者が意欲を持てるような環境整備を進めてほしい。

### ○鳥獣被害の問題について

**意見** 今以上の害獣駆除と荒廃地が増えないようにするための施策を考えてほしい。

### ○甌島航路について

**意見** 甌大橋が完成し、生活航路であるフェリーの重要度は増している。甌島の住民との人間関係が大切で、絆を深めるよう、戦略・知恵を絞ってもらいたい。

### ○市営住宅について

**問** 入居率が下がっている原因は何か。

**答** 新しい民間の住宅（アパート）が建てられたことと、人口減少によるもの。

### 意見

人口流出を食い止める観点からも、家賃算定の仕組み・緩和策についても、何らかの対策を考えるべき。

### ○総合防災訓練実施事業について

**意見** 多くの住民が参加することで、もしもの時に必ず活かされる。継続して取り組んでほしい。

### ○全体として（一般会計分）

**意見** 本市の経常収支比率は、依然として厳しい状況が続いている。コロナ禍による経済の悪化で、今後の税収は大変厳しい状況が懸念されるので、しっかりとした考えで対応してほしい。

**意見** 令和元年度は、地方創生総合戦略の最終年度であり、ここ5年間で、人口減少は計画より進んでいる状況。厳しい財政状況ではあるが、施策面で工夫を凝らし、今後5年間の計画を進めてほしい。

**意見** 財政状況の厳しさを、市長をはじめ、職員も議員もしっかりと認識した上で、施策や取組等を進めていくべき。本市が持続可能な財政運営を行っていくために、意識の徹底が必要である。

### ○国民健康保険特別会計について

**問** 本市の一人あたりの医療費が高い要因は。

**答** 国保加入者のなかでの高齢化が、県内で一番進んでいることや、入院患者が継続的にいることが、要因のひとつ。

### ○地方卸売市場事業特別会計について

**意見** 市場使用料を免除しても、赤字状況が続いている。株主である市が、その補填をすることがないように、市場の閉鎖についても検討するべき。

### ○水道事業会計について

**意見** 漏水により、年間600万円ほどの損害が出ている。また、漏水が長時間となれば、周辺住民にも影響が出るので、早急な復旧に努めてほしい。

# 第5回臨時会・第6回定例会の表決結果

提案された議案について、議長を除く14人の議員による採決を行いました。

## 1. 全会一致で可決された案件

<p><b>【決算認定（令和元年度会計分）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計</li> <li>・国民健康保険特別会計</li> <li>・公共下水道事業特別会計</li> <li>・地方卸売市場事業特別会計</li> <li>・介護保険特別会計</li> <li>・戸崎地区漁業集落排水事業特別会計</li> <li>・後期高齢者医療特別会計</li> <li>・水道事業会計</li> </ul>	<p><b>【補正予算】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計（第6号）</li> <li>・一般会計（第7号）</li> <li>・一般会計（第8号）</li> <li>・介護保険特別会計（第2号）</li> <li>・後期高齢者医療特別会計（第2号）</li> <li>・水道事業会計（第1号）</li> </ul>
<p><b>【条例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いちき串木野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定</li> <li>・いちき串木野市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定</li> <li>・いちき串木野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定</li> <li>・組織機構の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定</li> <li>・いちき串木野市税外収入に係る督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定</li> <li>・いちき串木野市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定</li> </ul>	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長の任命（同意）</li> <li>・教育委員会委員の任命（同意）</li> <li>・固定資産評価審査委員会委員の選任（同意）</li> <li>・鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合理約の変更</li> <li>・指定管理者の指定（7件） 串木野高齢者福祉センター等・冠嶽園・串木野体育センター及び長崎鼻公園ソフトボール場・川上運動広場・串木野弓道場及び市来弓道場・相撲競技場・B&amp;G海洋センター</li> </ul>

## 令和3年第1回市議会定例会日程（案）

第1回（3月）の市議会定例会を下記の日程で行います。  
※日程は変更する場合があります。

月 日（曜日）		内容
2月	22日（月）	本会議（開会日・議案質疑）
	24日（水）	常任委員会（総務厚生委員会）
	25日（木）	常任委員会（産業教育委員会）
3月	4日（木）・5日（金）	一般質問
	8日（月）	採決・議案質疑
	9日（火）	常任委員会（総務厚生委員会）
	10日（水）	常任委員会（産業教育委員会）
	12日（金）～18日（木）	予算審査特別委員会（16日（火）は休会）
	26日（金）	最終本会議

### 議会傍聴にどうぞ

#### 車椅子のまま傍聴できます

・市議会本会議のほか、常任委員会や議員全員協議会についても傍聴できます。（傍聴の際は、マスク着用をお願いします）  
・本会議については、市ホームページのほか、スマートフォンやタブレットでも生中継でご覧できます。（右のQRコードから確認できます）



### 編集後記

すこやかに新春をお迎えのことと存じます。新しい生活様式の中での年末年始の過ごし方の有り様は人と人との交わりさえも自粛させる初めての経験であります。ここに、議会だよりをお届けします。これからも、読みやすく、解りやすい紙面づくりに取り組んでまいります。今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、市民の福祉の向上と議会の伸展のために精進してまいります。皆様方のさらなるご指導とご鞭撻をよろしくお願いたします。令和3年の年明けにあたり、市民の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。（福田清宏）

### 議会広報特別委員会

委員長	松	崎	幹	夫
副委員長	吉	留	良	三
委員	江	口	祥	子
〃	田	中	和	矢
〃	中	村	敏	彦
〃	福	田	清	宏